

主催：特定非営利活動法人  
東京シューレ

協力：  
学校法人東京シューレ学園・  
登校拒否を考える会

2016年

11月

20日（日）

午後1時～5時

白山キャンパス

1305教室

資料代700円※当日徴収します  
東洋大学学生・教職員は無料

# 不登校調査50年 日本社会は 不登校を どう見て きたか？

シンポジウム  
& 分科会



★事前申込みをお願いします

1966年に「不登校の子どもの数」の調査が文部省により始められて今年で50年になります。この50年、日本社会は「不登校」をどう見てきたのでしょうか。

30年以上にわたって不登校の子どもと活動をつくってきた東京シューレの経験から、活動当初から比べると、不登校への社会寛容度はだいぶ広がってきたと感じています。他の領域を見ても、私たちの社会は、異質の排除から多様性の受容へ動いてきています。不登校についてはどうでしょうか。そこで、調査が始まってこの半世紀、日本の社会が不登校をどう見てきたかを振り返り、次へとつなげていくイベントを開催企画しました。

## 【シンポジウム登壇者】

- 親の会・フリースクール関係者：奥地圭子（東京シューレ・登校拒否を考える会）
- 教育行政関係者：文部科学省職員
- 心理・精神医療関係者：西村秀明（宇部フロンティア大学人間社会学部教授）
- 報道関係者：調整中
- 不登校研究者：朝倉景樹（シューレ大学）

コメンテーター 森田明美（東洋大学社会学部教授）

【分科会】①当事者（子ども・親）の体験者と語る ②学校・行政と不登校 ③不登校から多様な学びへ  
④登校研究のこれから

不登校に関心のある親の方、学校をはじめとする教育関係・行政関係者、子どもの支援に携わる方々、研究者や学生のみなさんなど、幅広いみなさんが集まるイベントにしたいと思います。

お申込先：特定非営利活動法人 **東京シューレ** 〒114-0021 東京都北区岸町1-9-19

電話 03-5993-3135

FAX 03-5993-3137

メール info@shure.or.jp

東京シューレ総合ホームページ <http://www.tokyoshure.jp/>（ウェブからも申込可能）

後援：東洋大学 社会貢献センター（エクステンション課） 問合せ：03-3945-7635